

我孫子市

食育だより

1月



○学校給食週間とは？

学校給食週間とは、学校給食の意味や役割について、生徒の皆さんや保護者、先生、地域の人の理解と関心を深めるための1週間です。

学校給食は、明治22年(1889年)山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で、僧侶たちが貧しくてお弁当を持ってこられない子供たちのために、おにぎり・塩びき(塩ます)・たくあんを与えたのが始まりです。

その後学校給食は全国に広まりましたが、昭和19年(1944年)には、第二次世界大戦の激化により中断しました。

戦後の食料難から子どもたちを救おうと、ララ委員会(アジア救済連盟)からの物資援助を受けて、「東京」「神奈川」「千葉」で学校給食が昭和21年12月24日に再開されました。物資をいただいたことに感謝の気持ちを込めて12月24日を学校給食感謝の日と定めていましたが、昭和25年にララ・ユニセフ等による給食物資の寄贈に対し感謝の気持ちを表し、学校給食が戦後再び開始された意義を考え、忘れてはならない日として、新たに冬休みと重ならない1月24日から30日を全国学校給食週間としました。

【学校給食の移り変わり】



明治22年
【日本で最初の給食】
おにぎり・塩ます・たくあん

現在の給食に比べると質素な内容ですが、みんな大喜びで食べたそうです。



昭和17年
【戦争中の給食】
すいとんのみそ汁

戦争が始まり、昭和16年頃から食べ物が不足するようになり、給食が続けられない学校も多くなりました。



昭和21年
【ララ物資による給食】
脱脂粉乳・トマトシチュー

栄養的に十分ではありませんが、戦後の食糧不足の時代に再開された給食は、多くの子供たちを飢えから救いました。

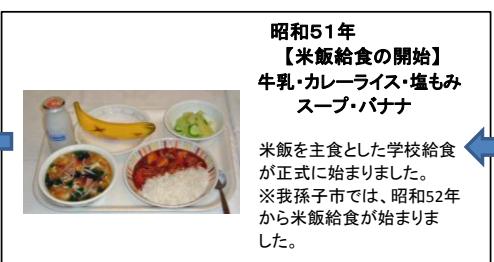


昭和25年
【完全給食のはじまり】
脱脂粉乳・コッペパン
コロッケ・せんキャベツ・スープ

アメリカからの小麦粉を使い、8大都市の小学生児童対象にミルク・パンおかずの完全給食が実施されるようになりました。

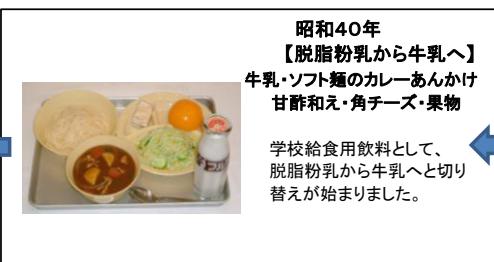


現在
【バラエティー豊かな給食】
地元でとれた食材を使った特色ある給食や、郷土料理を取り入れた給食、バイキング給食、世界の料理など献立の種類が増え、豊かで恵まれた給食が食べられるようになりました。



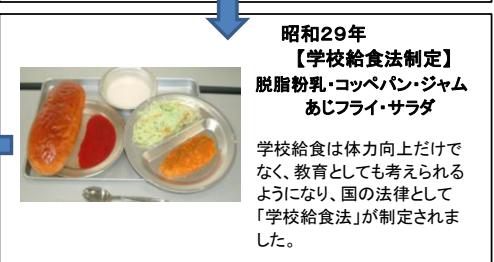
昭和51年
【米飯給食の開始】
牛乳・カレーライス・塩もみスープ・バナナ

米飯を主食とした学校給食が正式に始まりました。
※我孫子市では、昭和52年から米飯給食が始まりました。



昭和40年
【脱脂粉乳から牛乳へ】
牛乳・ソフト麺のカレー・あんかけ甘酢和え・角チーズ・果物

学校給食用飲料として、脱脂粉乳から牛乳へと切り替えが始まりました。



昭和29年
【学校給食法制定】
脱脂粉乳・コッペパン・ジャム
あじフライ・サラダ

学校給食は体力向上だけでなく、教育としても考えられるようになり、国の法律として「学校給食法」が制定されました。

給食週間中のメニュー紹介

1月24日(火)

ココア揚げパン・すいとん・ほうれん草のあえもの・バナナ ★すいとんは、毎時中に食べられていました。

1月25日(水)

パエリア・きのこのキッシュ・ポトフ・苺ヨーグルト ★パエリアは、スペインの料理です。

1月26日(木)

ピビンバ丼・卵の醤油煮・白菜スープ・りんご ★ピビンバは、韓国料理です。

1月27日(金)

さつま芋ご飯・鯖の味噌煮・ほうれん草のおひたし・吳汁・苺 ★干産干消献立です。

1月30日(月)

ホットチリドック・あさりのチャウダー・洋ナシのクリームソース ★ホットドックはアメリカで作られました。

我孫子の学校給食の歴史

昭和38年：我孫子第一小学校、布佐小学校で給食開始

昭和39年：湖北小学校・湖北中学校で親子方式による給食開始

昭和50年：湖北中学校移転により、中止

平成5年：白山中学校で自校式の完全給食開始

平成8年：湖北台中学校で給食開始

平成9年：布佐中学校で給食開始

平成10年：我孫子中学校で給食開始

平成11年：久寺家中学校・湖北中学校で給食開始

平成14年：我孫子産野菜を給食に導入(平成22年には市内19校全てに導入されました。)

平成18年：我孫子産コシヒカリを給食に100%導入。

平成22年：週3.9回を目安に米飯給食を実施。

